

新庁舎落成式

6月3日に

■庁舎落成式関連経費

354万円

当初予定の5月20日から6月3日に変更。

職員の健康管理の充実を

■報償費 30万円

メンタルヘルス相談用。

■職員健康診断委託料

99万円

Q 藤本 岩義議員

前記2件について、報償費は年何回ほど活用しているか。職員が相談しやすい方法を考えているのか。

また、健康診断の受診状況と受診率、受診しない職員への対応は。

A 宮川 総務課長

メンタルヘルスは月1回と、急な相談なども加えて15回を予定。

また、職員健康診断の受診件数は持っていない

が、成人病健診や胸部特定健診、新規採用職員の健診等の予算をあげている。また、受診者には掲示板や、個別に受診勧告をしている。

人事評価制度 研修充実を

■人事評価制度運用支援業務委託料 108万円

業務委託料

Q 矢野 昭三議員

これの内容は。

A 宮川 総務課長

各課の管理職等の評価の考え方をそろえるための研修等の費用。

地域づくり事業

■スポーツ活用型地域づくり事業委託料

1121万円

■新産業創造事業総合業務委託料 738万円

助金

■産業振興推進事業費補助金 250万円

Q 森 治史議員

前記3件の委託先と内容は。

A 門田 産業推進室長

スポーツ活用型地域づくり事業の委託先は、◇スポーツツーリズムを推進のアドバイザー委託で、サッカー大会等、企画運営に長けたBlue Waveという会社に。◇スポーツイベント等で砂浜美術館に。



交流人口の増加につながっている「Tシャツアート展」と「スポーツ合宿」

◇観光業務全般の委託を観光ネットワークに。

◇新産業創造事業総合業務委託の委託先は、これまでも委託をしていた新産業のプロデューサーとして松崎了三氏。支援として良品工房。新産業のプロジェクトマネジメントとして高知大学。外商力強化のマッチングやレシビ開発でキッチンエヌに引き続き委託を予定。

内容としては、新産業創造事業は、主に新産業を創造する上での支援をいたたく事業。産業振興推進事業費補助金は、町単独の事業で産業振興にかかわるソフト事業で、これまで50万円を上限として、販路開拓や商品開発などの支援をする補助金で、これまでにソフト事業だったが平成30年度からはハード事業も少し補助をする計画をしている。

地域整備事業は例年同様に

■地域整備事業工事費

3千万円

地区要望に対応するためのもので、例年同様の計上。

■県道の整備工事等負担金 3225万円

緊急輸送道路の沿線建物の耐震化

■緊急輸送道路等沿道建築物耐震事業補助金

1220万円

Q 藤本 岩義議員

この補助金は3件で、国道56号沿線だと思いが、場所と内容は。

A 徳廣 情報防災課長

この事業は、国土交通省が緊急避難に重要な路線において、耐震化できていない所の診断をして、国、県の補助で耐震化を進めていくもの。

場所は、1件については早咲地区。その他は申請後に対応していく。

大規模公園の

■土佐西南大規模公園工事負担金 728万円

工事負担金

Q 森 治史議員

この工事の場所は。

A 門田 産業推進室長

工事箇所は、テニスコートの改修工事、松原大橋の歩道橋、ふるさと総合センターの室内の天井の改修工事。